

2016年12月5日
株式会社東陽テクニカ

東陽テクニカ、米国 Uila 社への出資を決定
**～仮想化データセンター市場における販売・開発強化に向け、
戦略的パートナーシップを強固に～**

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下 東陽テクニカ）は、仮想化インフラ管理およびアプリケーションパフォーマンスの監視・障害解析ソリューション専門メーカーである Uila, Inc.（本社：アメリカ カリフォルニア州、以下 Uila 社）と、Uila 社への出資について合意いたしました。これにより、Uila 社とより強固な戦略的パートナーシップを確立し、仮想化データセンター市場の開拓を加速、情報通信事業の強化を推進してまいります。

【背景】

東陽テクニカは、電子計測機器の専門商社として、長年にわたり、海外の優れた・最先端の製品・サービスを日本へ紹介、情報通信分野においては、四半世紀を超える販売・サポート実績を持っています。2015 年には、仮想化データセンター市場に対応すべく Uila 社と総代理店契約を締結し、事業規模と業容の拡大を図っています。

情報通信（IT）の仮想化は普及が進んできており、国内バーチャルマシン/クラウドシステムソフトウェア市場の2015～2020年の年間平均成長率は6.0%、2020年の市場規模は741億円になると予測され、仮想化データセンター市場は、今後ますます拡大していくものと考えられます^{※1}。

【狙い】

1. 仮想化データセンター市場におけるビジネスの強化

東陽テクニカが仮想化データセンター市場に本格参入するにあたり、仮想化環境管理およびアプリケーションパフォーマンスの監視・障害解析ソリューションを持つ Uila 社とのパートナーシップをさらに強化することで、同市場の開拓を加速し、さらなる事業規模と業容の拡大を図っていきます。

仮想化ソフトのデファクトスタンダードの一つである VMware にも対応し競争力を持つ「Uila ソリューション」を中心に販売戦略を強化し、販売増を狙います。

2. 自社開発製品・大容量パケットキャプチャ/解析システム「Synesis」との連携


シリコンバレーに拠点を置く Uila 社の開発部門との連携を進め、現在は物理ネットワーク環境のみに対応している自社製品・大容量パケットキャプチャ/解析システム「Synesis」に、仮想化環境でのキャプチャ機能やアプリケーションアナリシス機能を付加することで、商品力を上げ、市場競争力を向上させます。

また、Synesis と Uila 製品とを組み合わせることで、仮想化環境と物理ネットワーク、コンピューティングならびにストレージ環境両方の完全な監視ソリューションを提供、両製品のシナジーによって販売増を図ります。

【出資の内容】

東陽テクニカが、Uila 社の新株発行分を総額 500 万ドルで引き受け、販売・開発における戦略的パートナーシップを強固にする。

【Uila 社概要】

社名	Uila, Inc. 
本社所在地	アメリカ合衆国 カリフォルニア州（シリコンバレー）
設立	2013 年
事業内容	仮想化データセンター市場向け仮想化インフラ管理およびアプリケーションパフォーマンス監視・障害解析ソリューションの提供

〈Uila 社 CEO Chia-Chee Kuan 氏コメント〉

「Uila 社は、東陽テクニカからの戦略的投資を心から歓迎いたします。これにより、テクノロジーやビジネス面でシナジーを生み出す強固なパートナーシップを確立するとともに、両社の技術ならびに市場開拓戦略の大きな柱となることを確信しています。大きな可能性を秘めたこの仮想化データセンター市場で、東陽テクニカとともにテクノロジーイノベーションをグローバルに起こしていきます。」

今後も東陽テクニカは「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、Uila 社との戦略的なパートナーシップにより、仮想化システムや仮想化ネットワークをより効率的かつ快適に運用するために最適な管理・監視・障害解析ソリューションを、拡大する仮想化データセンター市場に提供することを通じ、顧客の ROI を高め生産性向上に貢献してまいります。

【Uila 社製品】

■ 「Uila ソリューション」

仮想環境のアプリケーション、ネットワーク、インフラストラクチャ（CPU、メモリ、ストレージ）のパフォーマンスを統合的に可視化し障害解析をおこなう。



<ダッシュボード画面>



<ネットワークフロー分析画面>

※1 出典：IDC Japan 2016年7月25日「国内仮想化ソフトウェア市場予測」

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953（昭和 28）年の設立時より「技術と情報」をキーワードに日本の技術発展に寄与することを使命として、主として最先端の「測るツール」を欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の研究・開発者に提供してきました。さらに、「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー、トレーニングなどの取組みは、530 名を超える全従業員の約 7 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。

東陽テクニカ Web サイト：<http://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部

TEL：03-3245-1081（直通）

E-mail：kikaku@toyo.co.jp

「Uila ソリューション」サイト：<http://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/uila.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。